



あなたなら どうしますか

暮らしの中の人権

「あなたの暮らしには、人権がどのようにかわっていますか？」
こう聞かれたら、あなたはどうか答えますか。ほとんどの人が、人権と自分の生活との関係なんて、考えたことがないのではないでしょうか。

私たちの社会には、同和問題、女性に対する差別や暴力、子どもへのいじめや児童・高齢者への虐待、障害者に対する差別など様々な人権問題があります。こうした人権問題は、決して私たちの生活とは無関係に特別なところで起きているわけではありません。

あなたの日常生活でのいろいろな場面を考えてみてください。家族や友達と何気なく交わす会話の



中で相手の気持ちを傷つけたり、自分勝手な思い込みによって、偏った見方・考え方をしていることがあります。

また、正しい知識や実際の経験に基づかないで、人や物事に対して好きとか嫌いとかの判断をしたり、決めつけたりしてしまっていることもあります。

例えば、外国人というだけで、賃金や労働時間に関して不利益を受けていたり、「もう年なんだから」とか「年寄りの出る幕じゃない」などの言葉で高齢者から社会参加等の機会を奪っていることがあります。これらはほとんどが偏見に

よるもので、そのことが差別を生み出す原因となっています。

人権は、あなたも、私も、すべての人が人間として生まれながらに持っている権利です。しかし、実際の暮らしの中では、つい無関心になりがちではないでしょうか。人権問題は、あなたの周りの見落としてしまいそうな日常生活の出来事の中で実際に起きているのです。あなたは、それを見逃してはいませんか。

「人権」について 考えてみませんか

人権について「差別をしてはいけません」「人権を尊重しましょう」というメッセージは、よくご存知でしょう。例えば、毎年12月の人権週間にテレビやラジオ、新聞などを通じてこのメッセージがよく広報されています。

お互いの人権を尊重し、差別をしないことは、人間関係、社会関係の基本といえますが、このことが私たちにとって頭の中の知識にとどまらず、実際の暮らしの中で一人ひとりの努力によって生かされていくことが最も大切です。

ただ、暮らしの中で生かすといっても、人権に気づかなければ具体的な取り組みにはつながりません。そこで「自分の人権は守られてい

るか」「他の人の人権を侵害していないか」「自分の生活を再点検してみることが必要です。

まずは自分の意識の中にある、知らず知らずのうちに身についた偏見を見直し、毎日の何気ない出来事の中にも人権が深く関わっていることに気づくことが大切です。そして、正しい知識を身につけ、合理的、客観的に判断する力を養い、お互いの人権を尊重し合える社会を築いていきましょう。

人権啓発講座「認知症を学び 地域で支えよう」

日時 9月18日(金) 18:30~20:00
場所 人権センター 1階会議室
講師 社会福祉法人中国新聞社会事業団
竹原市黒滝ホーム生活相談員
(認知症キャラバン・メイト)
西田 由美子さん
入場料 無料
問い合わせ 人権センター ☎22-3726

